

お客様へ

この度は、タキズミ照明器具をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。「取扱説明書」をよくご覧のうえ、正しく安全にご使用ください。ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。保証書はお買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ

この説明書は工事終了後、この器具をご使用になるお客様にお渡しください。

品番 RTB60146

【安全上のご注意】必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

◆誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

◆お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

警告

■ 取付面

● 次のような場所には取り付けないでください。

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

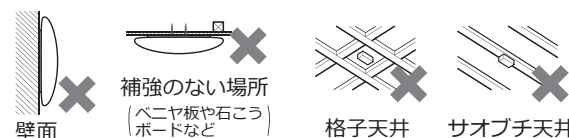
◎ この器具は水平天井専用です。



不安定な場所 傾斜した場所 凹凸のある場所 変形天井



禁止



壁面 補強のない場所 (ベニヤ板や石こうボードなど) 格子天井 サオブチ天井

■ 壁スイッチ

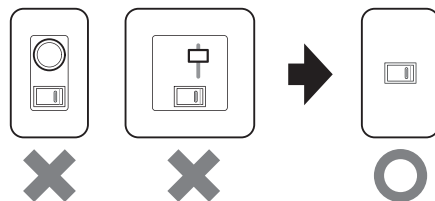
● 調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切スイッチに交換してください。

火災のおそれがあります。

◎ 販売店、工事店に交換を依頼してください。(工事には資格が必要です)



必ず守る



■ 配線器具

● 次のような配線器具(ローゼット・引掛シーリング)には取り付けないでください。

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

◎ 販売店、工事店に交換を依頼してください。(工事には資格が必要です)



ガタつきがあるもの
破損しているもの



シーリングハンガー
シーリングハンガーが
取り付けられたもの



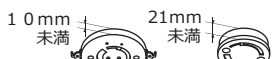
禁止



電源端子
電源端子が
露出しているもの



ケースウェイ
ケースウェイに
取り付けられたもの



10mm 未満
ローゼット
21mm 未満
引掛シーリング
内装材の重ね貼りなどにより
出しろが小さくなったもの

■ その他

● 交流100ボルトで使用してください。過電圧を加えると過熱し、火災・感電のおそれがあります。

● 異常を感じた場合、速やかに電源を切ってください。

異常状態が収まったことを確認し、お客様相談室にご相談ください。



必ず守る

● アダプタは確実に取り付けてください。落下してけがのおそれがあります。

● 本体は確実に取り付けてください。破損して感電のおそれがあります。

● 本体が簡単に回転しないことを確認してからカバーを取り付けてください。破損して感電のおそれがあります。



分解禁止

● 器具を改造したり、部品を交換しないでください。火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

⚠ 注意

●照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。

◎1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。

(弊社ホームページより書式をダウンロードしてご使用ください) <https://www.takizumi-denki.com/publics/index/208/>

●この製品は5℃～35℃の範囲内で使用してください。

火災、感電の原因となることがあります。

●取付け・取りはずし時などは足場を確保し、安全に作業できるよう注意してください。

転倒・落下してケガをするおそれがあります。

●付属の梱包材は取り除いて使用してください。

そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

●カバーなどが破損した場合、けがの原因になることがありますので、破損部分に直接手や肌などを触れないでください。

◎破損した状態のまま使用すると感電、けがの原因になることがあります。販売店に点検、部品の交換、修理を依頼してください。



必ず守る



接触禁止

●点灯中や消灯直後は本体やその周辺にさわらないでください。

やけどの原因となることがあります。

◎お手入れは電源を切り、本体やその周辺が冷めてから行ってください。



水ぬれ禁止

●浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しないでください。

火災、感電の原因となることがあります。

◎この器具は防湿、防雨型ではありません。



禁止

●温度の高くなるものを器具の真下に置かないでください。

火災の原因となることがあります。

◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

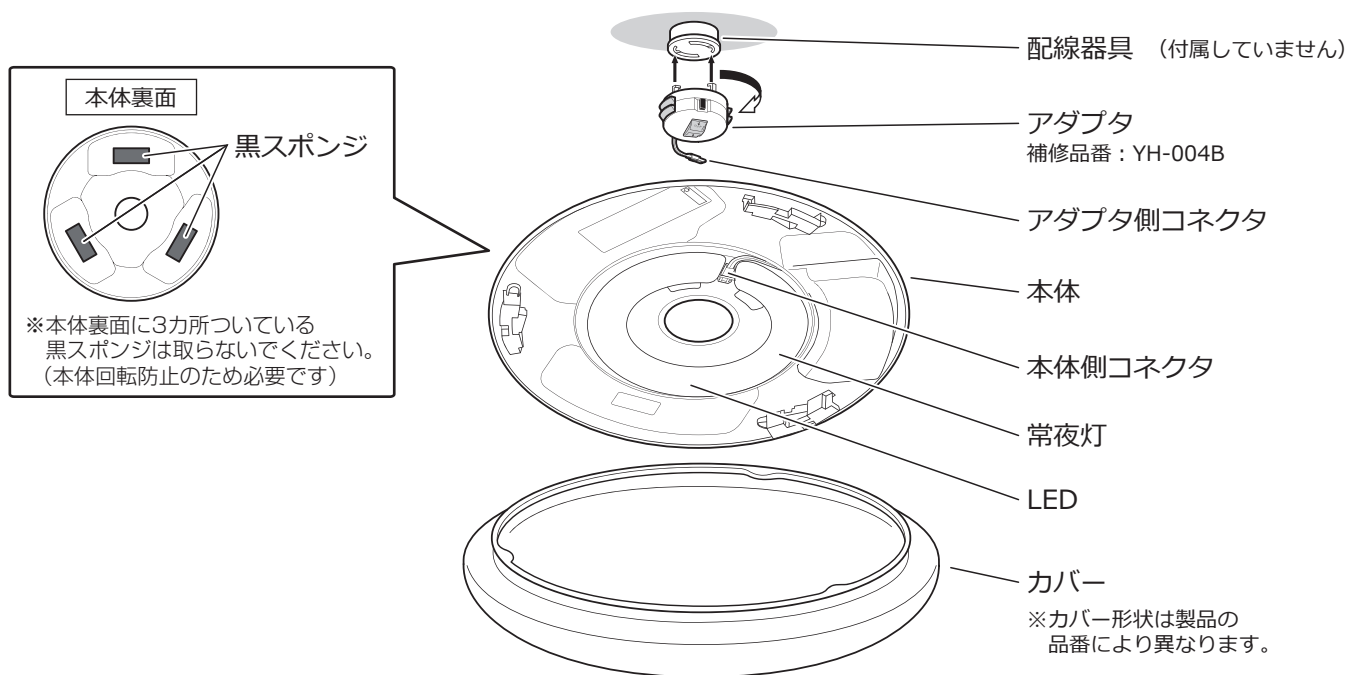
●LEDを直視しないでください。

目の痛みの原因となることがあります。

各部のなまえと付属部品

取付ける前にまず付属部品をご確認ください

照明器具



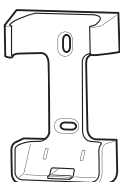
リモコンと付属部品

リモコン (補修品番: TLR-006)

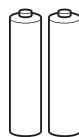


※リモコン前面の保護シートを取りはずしてご使用ください

リモコンホルダー



単4形乾電池(2本)



※動作確認用のため電池寿命が短い場合があります

木ネジ(2本)



※リモコンケース取付用

照明器具を取り付ける

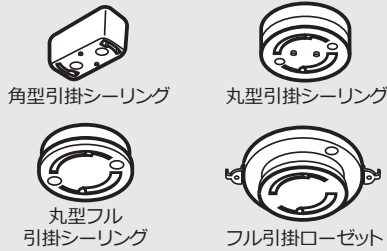
安全のため、必ず電源を切ってから行ってください

1 天井の配線器具を確認する

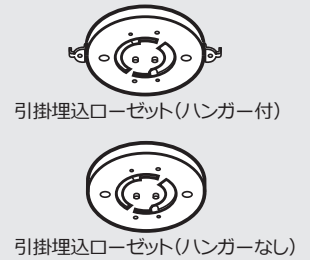
天井に右図のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。
※壁スイッチと併用をおすすめします。

❗ 右記以外の配線器具の場合や、配線器具が設置されていない場合は取り付けできません。
◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
(工事には資格が必要です)

天井からの出しが 22mm の配線器具



天井からの出しが 11mm の配線器具



2 天井の配線器具にアダプタを取り付ける

- ① アダプタのツメ(2カ所)を配線器具のスライド穴(2カ所)に入れ、
- ② 「カチッ」と音がするまでアダプタを右に回して取り付ける

確認 アダプタ取り付け後、ボタンを押さずに左に回して外れないことを確認する。

警告

❗ 必ず付属のアダプタを使用する
付属のアダプタ以外を使用した場合、本体が外れなくなる場合があります。

警告

❗ アダプタ、本体は確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

3 本体を取り付ける

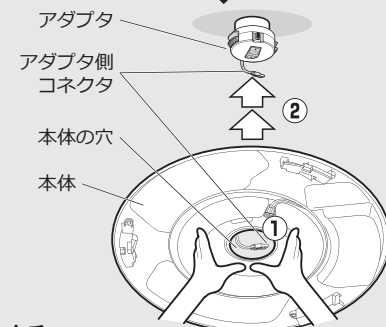
配線器具により本体の取付位置が異なります。
右図を参考に本体を押し上げてください。

- ① 本体の穴にアダプタ側コネクタを通し、
- ② 本体の穴をアダプタに合わせて本体を押し上げる

注意

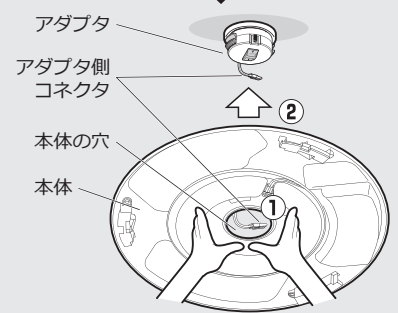
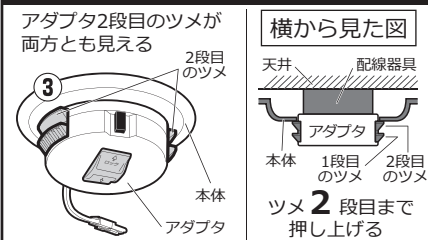
❗ 本体を押し上げる際は
穴のまわりを押し上げてください。

- ③ 本体の穴からアダプタのツメが見えることを確認する
- ④ アダプタのハンドルをロックする



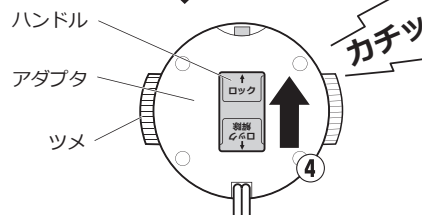
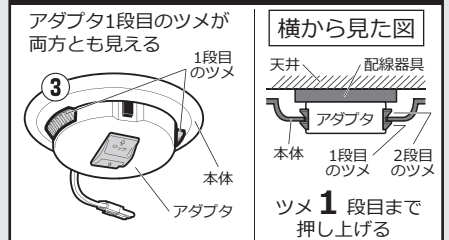
カチッ
カチッ と 2 度、音がするまで本体を押し上げる。

アダプタの本体取付位置



カチッ と 1 度、音がするまで本体を押し上げる。

アダプタの本体取付位置



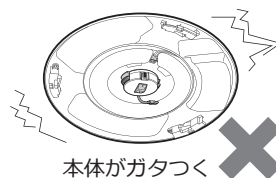
アダプター正面から見た図

「カチッ」という音がなるところまでハンドルをスライドさせてロックする

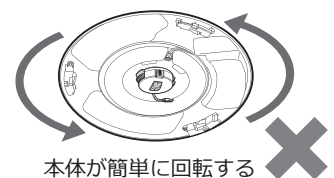
4 本体が正しく取り付けられているか確認する

確認

右図の場合、正しく取り付けされていないので手順 3 を再度行ってください。



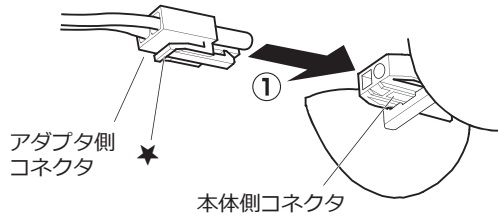
本体がガタつく



本体が簡単に回転する

5 コネクタを接続する

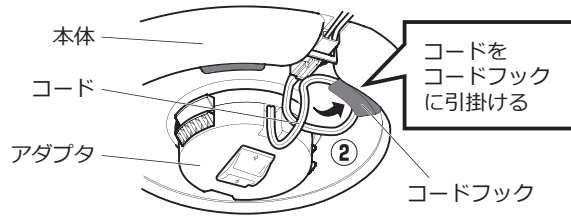
- ①アダプタ側コネクタを
本体側コネクタに確実に差し込む



確認

★の部分を押さえずに引っ張って、アダプタ側のコネクタが抜けにくいことを確認してください。

- ②アダプタのコードを
本体のコードフックに引掛ける

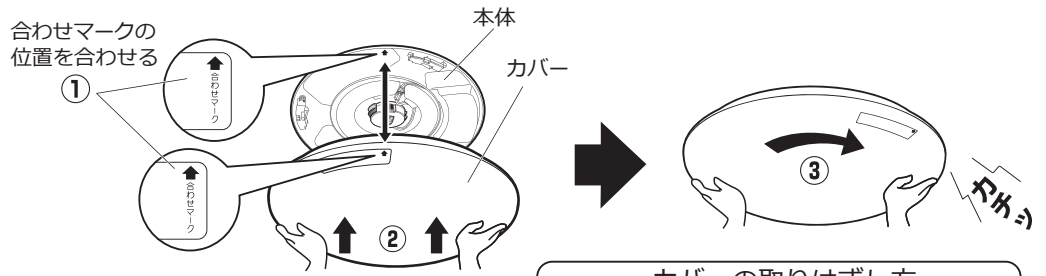


警告

コネクタ接続後は本体を無理に回さないでください
器具や配線器具の落下、破損の原因になります

6 カバーを取り付ける

- ①本体とカバーの
合わせマークの位置を合わせ、
- ②カバーを持ち上げて本体にはめ、
- ③「カチッ」と音がするまで
カバーを右に回す

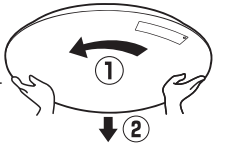


確認

カバーが確実に取付けされていることを確認してください。
カバー取り付け時に本体が簡単に回転する場合は、本体が正しく取り付けされていません。
手順 3 に戻って本体の取り付けを再度行ってください。

カバーの取りはずし方

- ①カバーを左に回し、
- ②カバーを取りはずす

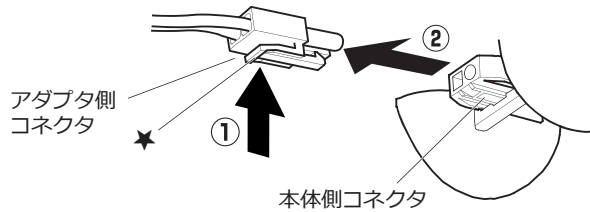


照明器具を取りはずす

安全のため、必ず電源を切ってから行ってください

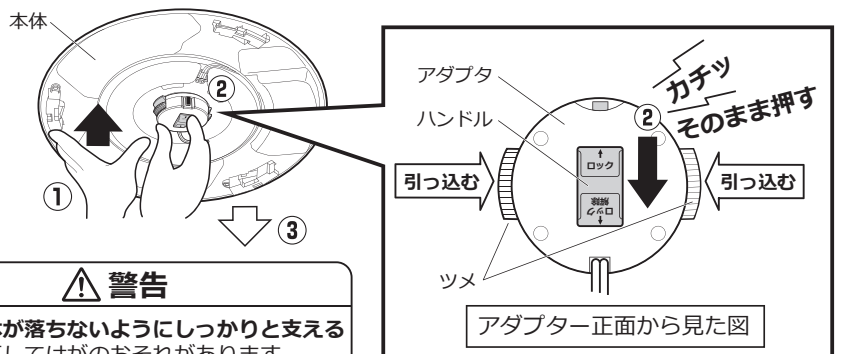
1 コネクタをはずす

- ①コネクタの★の部分を押さえながら
- ②アダプタ側コネクタを引き抜く



2 本体を取りはずす

- ①本体が落ちないようにしっかりと支えながら、
- ②アダプタのハンドルを「カチッ」と音がなるまで
ロック解除の方向へスライドさせてロックを解除し、
そのままアダプタのツメが引っ込むまで
ハンドルを押してスライドさせる
- ③本体をゆっくりと下げて取りはずす

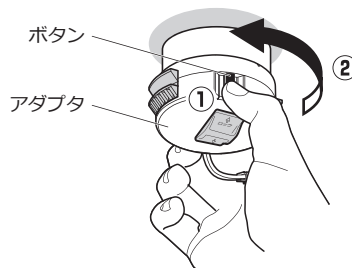


警告

本体が落ちないようにしっかりと支える
落下してけがのおそれがあります。

3 アダプタをはずす

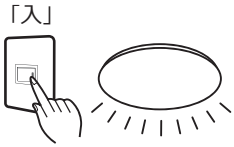
- ①ボタンを押しながら
- ②左に回してアダプタをはずす



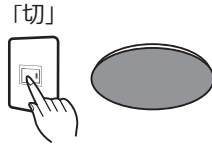
あかりをつける・消す

壁スイッチで照明器具を操作する

点灯・消灯する



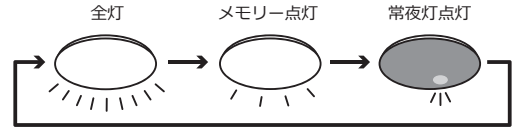
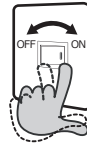
記憶している前回の状態で点灯します
(初期設定：消灯)



現在の状態を記憶して消灯します

- リモコンで「明るさ」を調節した状態で消灯した場合は、現在の状態を記憶しません。そのため、次にONした時は最後にメモリー点灯ボタンに記憶した「明るさ」で点灯します。
- 消灯状態で「切」にすると次に「入」にしたときも消灯状態になります。

点灯状態を切り替える



壁スイッチを素早く(約3秒以内に) OFF ⇄ ON を切り替えると上図のように点灯状態が切り替わります

- メモリー点灯ボタンの初期設定は【明るさ：100%】の状態では記憶されています。
- 壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用した場合、点灯状態が同時に切り替わらないことがあります。

リモコンについて

リモコンで照明器具を操作する 壁スイッチは「入」の状態にしてください

リモコンのボタンについて

※リモコンなどの付属部品は1年保証です(乾電池を除く)

タイマー表示

タイマー設定時に表示されます。

時刻表示

現在時刻や設定時刻が表示されます。

オフタイマー表示

オフタイマー設定時に表示されます。

全灯ボタン

100%の明るさで点灯します。(昼光色)

- 蓄光ボタンが太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。

調光ボタン

明るさを調節します。

調光範囲：100%～約10%まで

調光ボタン を同時に長押し(6秒以上)で

操作する照明器具のチャンネルが切り替わります。

⇒13ページの「チャンネルの設定方法」を参照

offタイマーボタン

offタイマーをセットすると30分後または60分後に自動消灯します。

タイマー設定後、offタイマーボタン以外のボタンを押すと「ピー」とブザー音が鳴り、タイマーは解除されます。

必要な場合は、改めてタイマー設定を行ってください。

⇒12ページの「offタイマー機能を使用する」を参照

チャンネル切替ボタン

操作する照明器具のチャンネルを設定する場合に使用します。

⇒13ページの「チャンネルの設定方法」を参照

取消ボタン

タイマーとるすばん設定を取り消す場合に使用します。

- タイマー設定・るすばん設定のみを取り消します。30分/60分オフタイマーの取り消しはできません。

るすばん表示

るすばん機能設定時に表示されます。

チャンネル表示

設定しているチャンネルが表示されます。

消灯ボタン

消灯します。

- この器具は、リモコンで消灯している場合約1W以下の電力を消費しています。長期間ご使用されない場合、壁スイッチをOFFにしておくことをおすすめします。

常夜灯ボタン

常夜灯を点灯します。

- 常夜灯は調光できません。

メモリー点灯ボタン

メモリー設定操作をした「明るさ」で点灯します。ボタンを長押し(2秒以上)で点灯状態を記憶します。

⇒初期設定は【明るさ：100%】

⇒6ページの「点灯状態を調節し記憶させる」

「記憶した明るさをワンタッチで点灯する」を参照

時刻設定ボタン

現在の時刻、タイマーの時刻を設定する場合に使用します。

⇒7ページの「時刻表示の設定方法」を参照

⇒8ページの「タイマーの時刻設定方法」を参照

タイマー設定ボタン

タイマーを設定する場合に使用します。

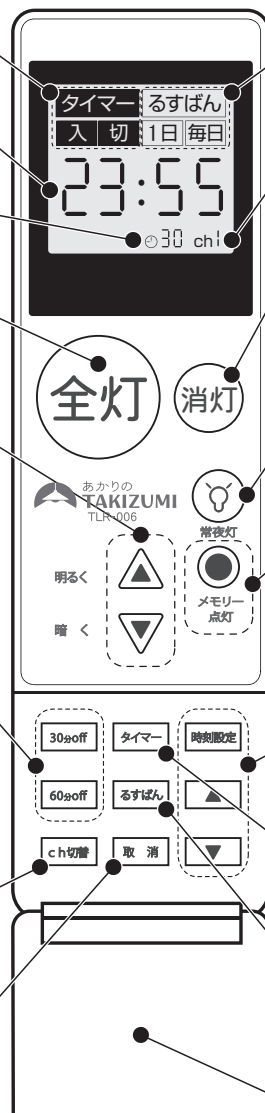
⇒10ページの「タイマー機能の使用法」を参照

るすばん設定ボタン

るすばん機能を設定する場合に使用します。

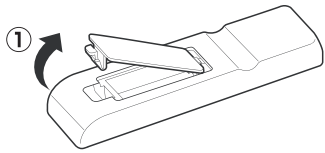
⇒11ページの「るすばん機能の使用法」を参照

扉

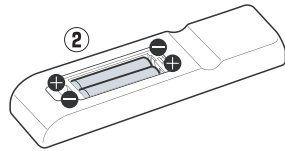


リモコン乾電池の入れ方

①リモコン裏側の電池蓋をはずす

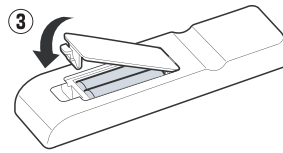


②電池の⊕⊖を正しく入れる



電池は⊖側接点をリモコンのバネに正しく押し当てながら装填する

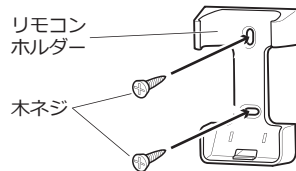
③電池蓋を取り付ける



- 使用する電池や条件により半年未満で消耗することがあります。
- リモコンに付属の電池は動作確認用のため電池寿命が短くなる場合があります。
- 電池を入れる時、電池に傷をつけたたり、カバーを破らないようにしてください。
- 発熱、破裂、発煙、発火のおそれがあります。
- 電池交換時は2本とも新しい同じ種類のものを使用してください。
- 長期間使わない時は電池を取り出してください。(液漏れによる故障防止)

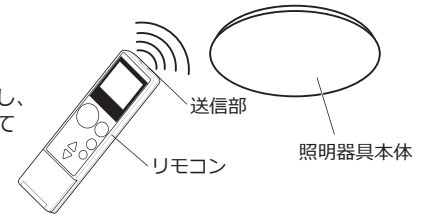
リモコンホルダーの使い方

付属の木ネジを使用して壁面に固定する



確認

リモコンを操作する場合は、リモコンホルダーから取り出し、照明器具本体に送信部を向けて操作してください。



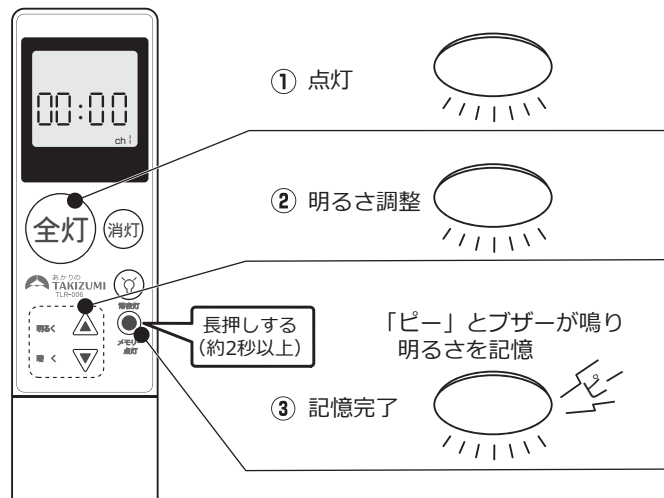
点灯状態を調節し記憶させる

リモコンのメモリー点灯ボタンで、お好みのあかりを記憶することができます

①リモコンの「全灯ボタン」を押して点灯させる

②リモコンの「調光ボタン」を押して、お好みの明るさに調節する

③リモコンの「メモリー点灯ボタン」を長押し(約2秒以上)して明るさを記憶する



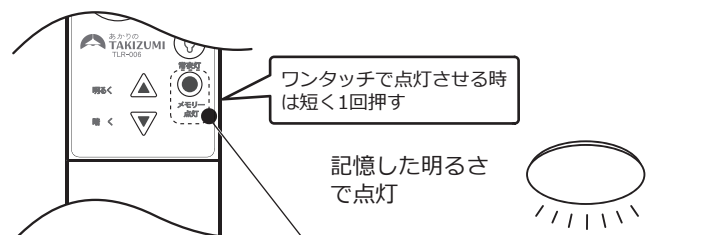
●再び上記の操作を行うまでは、記憶した明るさを保持します。

記憶した明るさをワンタッチで点灯する

記憶した明るさをワンタッチで点灯することができ、「お気に入りの点灯状態」としてご利用できます

リモコンの「メモリー点灯ボタン」を押して点灯させる

- 常夜灯はメモリー点灯ボタンで記憶できません。
- 初期設定は、【明るさ：100%】の状態です。

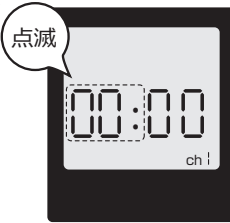


時刻表示をあわせる

時刻表示の設定方法

① リモコンの扉を開け、時刻表示が点滅するまで、

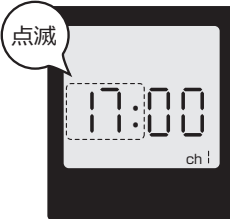
時刻設定 ボタンを長押しする



- **タイマー** **るすばん** が表示されていない状態で現在時刻を合わせてください。表示されている場合は

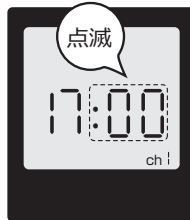
取消 ボタンで取り消しを行ってください。

②  ボタンで「時間」を設定する



- 「時間」は24時間表示です。
- ボタンを1回押すごとに1時間刻みですすみませす。
- ボタンを長押しすると早くすすみます。

③ **時刻設定** ボタンを押して「時間」を決定し「分」の設定に移る



④  ボタンで「分」を設定する



- ボタンを1回押すごとに1分刻みですすみませす。
- ボタンを長押しすると早くすすみます。

⑤ **時刻設定** ボタンを押して「分」を決定し現在時刻の設定を完了する



- 途中で設定を中断したい場合は **取消** ボタンを押してください



- 約30秒間操作がない場合は、元の時刻に戻ります。

- 時計は環境により、1ヶ月に約3分程度ずれることがあります。時計のあわせかたの手順にそって現在時刻をあわせてください。

タイマー機能を使用する

壁スイッチは「入」の状態にしてください

タイマー機能とは

「点灯」「消灯」「点灯と消灯」をタイマー設定した時間に自動でおこなうことができます。

例えば、「朝起きる時刻に点灯させる」「就寝の時間に消灯させる」「在宅を装いたい」ときなどにご利用いただけます。

点灯時は「メモリー点灯ボタン」に設定されている点灯状態で点灯します。

⇒メモリー点灯ボタン初期設定は、【明るさ：100%】

⇒メモリー点灯ボタンにおこのみのあかりを設定する手順は、6ページ「点灯状態を調節し記憶させる」を参照

⇒「タイマー機能」と「るすばん機能」は同時に使用できません。

タイマーの時刻設定方法

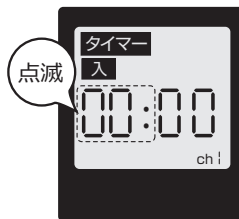
「タイマー入」の時刻設定

①リモコンの扉を開け **タイマー** ボタンを

1回押して **タイマー入** を表示させる



②時刻表示が点滅するまで **時刻設定** ボタンを長押しする



③ **▲** ボタンで「時間」を設定する



- 「時間」は24時間表示です。
- ボタンを1回押すごとに1時間刻みですすみませす。
- ボタンを長押しすると早くすすみます。



④ **時刻設定** ボタンを押して「時間」を決定し「分」の設定に移る



⑤ **▲** ボタンで「分」を設定する



- ボタンを1回押すごとに1分刻みですすみませす。
- ボタンを長押しすると早くすすみます。



⑥ **時刻設定** ボタンを押して「分」を決定しタイマー入設定を完了する

- タイマー入設定を完了すると、表示は現在時刻に戻ります。
- 途中で設定を中断したい場合は **取消** ボタンを押してください



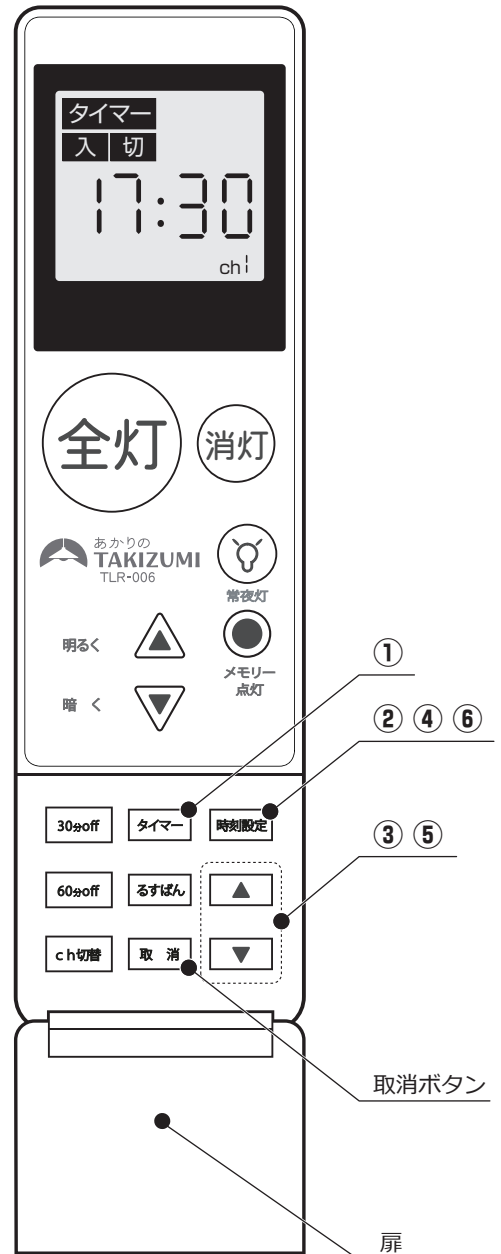
「タイマー切」の時刻設定

① **タイマー** ボタンを2回押して

タイマー切 を表示させる



②以降は、「タイマー入」の時刻設定と同じ手順で設定をおこなう



●約30秒間操作がない場合は、元の時刻に戻ります。

●タイマーの設定時刻を変更したい場合は、「タイマー入」「タイマー切」の時刻設定を再度おこない、上書きをしてください。

タイマー設定をした時刻の確認方法

「タイマー入」の設定時刻の確認

- ① リモコンの扉を開け **タイマー** ボタンを1回押して

**タイマー
入** を表示させる



- ② **時刻設定** ボタンを短押しして「タイマー入」の設定時刻の表示を確認する

- 2秒間「タイマー入」の設定時刻を表示しその後、現在時刻表示へ戻ります。



《「タイマー入」設定時刻》

《現在時刻》

「タイマー切」の設定時刻の確認

- ① リモコンの扉を開け **タイマー** ボタンを2回押して

**タイマー
切** を表示させる



- ② **時刻設定** ボタンを短押しして「タイマー切」の設定時刻の表示を確認する

- 2秒間「タイマー切」の設定時刻を表示しその後、現在時刻表示へ戻ります。



《「タイマー切」設定時刻》

《現在時刻》

「タイマー入・切」の設定時刻を同時に確認

- ① リモコンの扉を開け **タイマー** ボタンを3回押して

**タイマー
入 切** を表示させる



- ② **時刻設定** ボタンを短押しして「タイマー入」「タイマー切」の設定時刻の表示を確認する

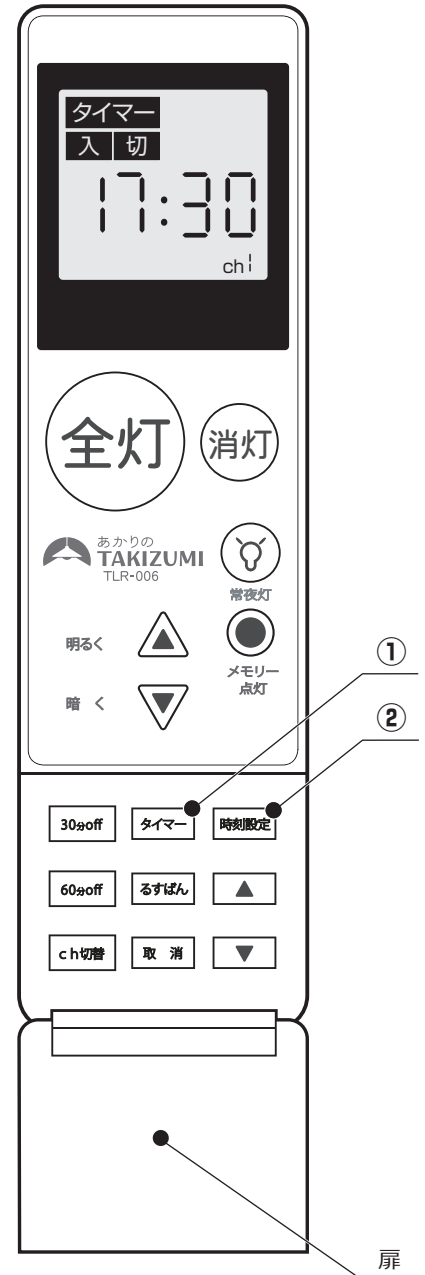
- 「タイマー入」⇒「タイマー切」の順に2秒間ずつ設定時刻を表示しその後、現在時刻表示へ戻ります。



《「タイマー入」設定時刻》

《「タイマー切」設定時刻》

《現在時刻》



タイマー機能の使用法

「タイマー入」を使用して設定時刻に点灯する

①リモコンの扉を開け **タイマー** ボタンを

1回押して **タイマー入** を表示させる



②リモコンの扉を閉め、器具が作動する位置におく

確認

あらかじめリモコンを設置する場所から器具が作動するか確認をおこなってください。

- 点灯時は「メモリー点灯ボタン」に設定されている点灯状態で点灯します。
- メモリー点灯ボタンの初期設定は、【明るさ:100%】
- メモリー点灯ボタンにおこのみのあかりを設定する手順は、6ページ「点灯状態を調節し記憶させる」を参照。
- 「タイマー入」の時刻設定方法は、8ページの「タイマーの時刻設定方法」を参照。

「タイマー切」を使用して設定時刻に消灯する

①リモコンの扉を開け **タイマー** ボタンを

2回押して **タイマー切** を表示させる



②リモコンの扉を閉め、器具が作動する位置におく

確認

あらかじめリモコンを設置する場所から器具が作動するか確認をおこなってください。

- 「タイマー切」の時刻設定方法は、8ページの「タイマーの時刻設定方法」を参照。

「タイマー入」「タイマー切」の両方を使用して設定時刻に点灯・消灯する

①リモコンの扉を開け **タイマー** ボタンを

3回押して **タイマー入切** を表示させる



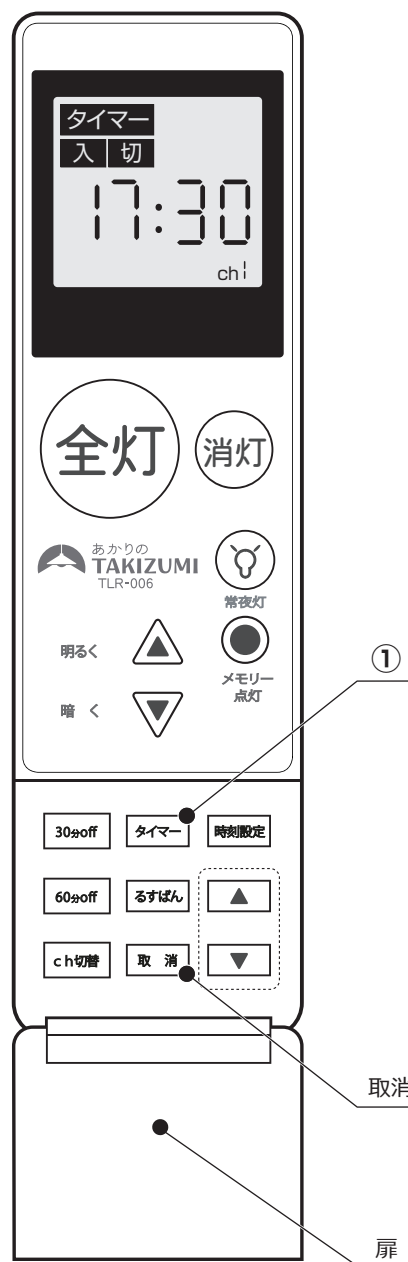
②リモコンの扉を閉め、器具が作動する位置におく

確認

あらかじめリモコンを設置する場所から器具が作動するか確認をおこなってください。

タイマー機能を解除する

リモコンの扉を開け **取消** ボタンを押し
タイマー表示を消して、タイマー設定を解除する



- 「タイマー機能」と「るすばん機能」は同時に使用できません。

るすばん機能を使用する

壁スイッチは「入」の状態にしてください

るすばん機能とは

本製品にあらかじめ設定されている時間帯に、自動点灯・自動消灯を1時間毎に繰り返し、消灯して終了します。
「1日のみ実行」、または「毎日実行」を選択できるので、長期不在などで在宅を装いたいときにご利用いただけます。
点灯時は「メモリー点灯ボタン」に設定されている点灯状態で点灯します。

【本製品にあらかじめ設定されている時間帯】

	点灯開始時間	るすばん機能作動中	消灯時間
パターン①	17:30 ▶	1時間毎に点灯・消灯を繰り返す ▶	00:00
パターン②	18:00 ▶	1時間毎に点灯・消灯を繰り返す ▶	23:00
パターン③	18:30 ▶	1時間毎に点灯・消灯を繰り返す ▶	23:30

- 左の3パターンの時間帯があらかじめ設定されており、3つのパターンのうち1つを本製品が自動で選択します。
- あらかじめ設定されている時間帯の変更や選択はできません。
- 任意の時刻に点灯・消灯をおこなう場合は、「タイマー機能」をご使用ください。⇒8ページ「タイマー機能を使用する」を参照。
- 18:30を過ぎて「るすばん機能」を実行した場合は、次の日に作動します。当日に作動したい場合は、18:30までに実行してください。

⇒メモリー点灯ボタンの初期設定は、【明るさ:100%】

⇒メモリー点灯ボタンにおこのみのあかりを設定する手順は、6ページ「点灯状態を調節し記憶させる」を参照。

⇒「タイマー機能」と「るすばん機能」は同時に使用できません。

るすばん機能の使用法

「1日」のみ実行する

- ①リモコンの扉を開け **るすばん** ボタンを1回押して **るすばん 1日** を表示させる



- ②リモコンの扉を閉め、器具が作動する位置におく

確認 あらかじめリモコンを設置する場所から器具が作動するか確認をおこなってください。

「毎日」実行する

- ①リモコンの扉を開け **るすばん** ボタンを2回押して **るすばん 毎日** を表示させる

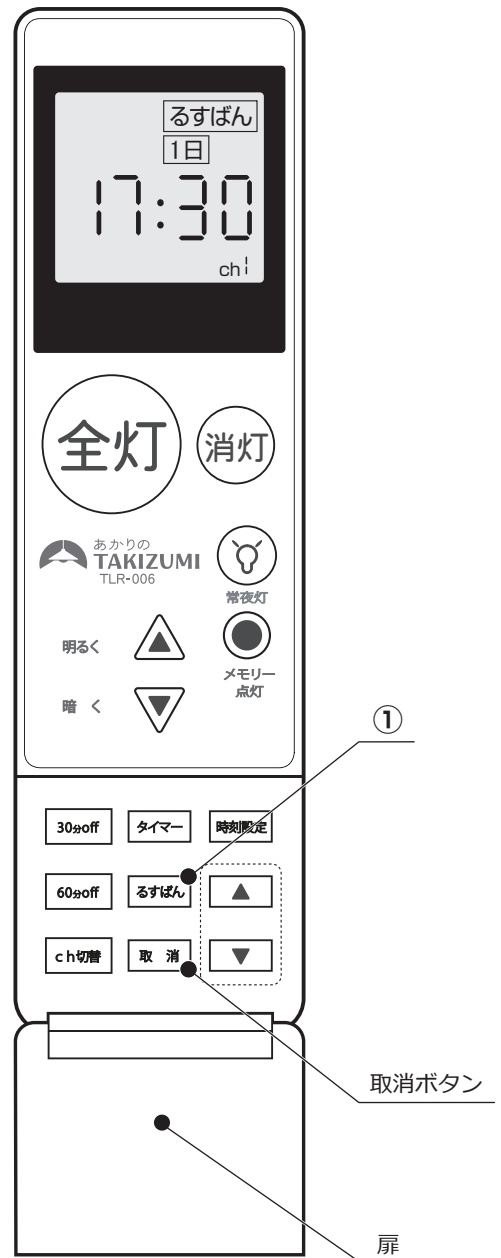


- ②リモコンの扉を閉め、器具が作動する位置におく

確認 あらかじめリモコンを設置する場所から器具が作動するか確認をおこなってください。

るすばん機能を解除する

- リモコンの扉を開け **取消** ボタンを押して、るすばん機能表示を消して、タイマー設定を解除する



- 「るすばん機能」と「タイマー機能」は同時に使用できません。

offタイマー機能を使用する

壁スイッチは「入」の状態にしてください

offタイマー機能とは

30分後または60分後に自動消灯することができます。

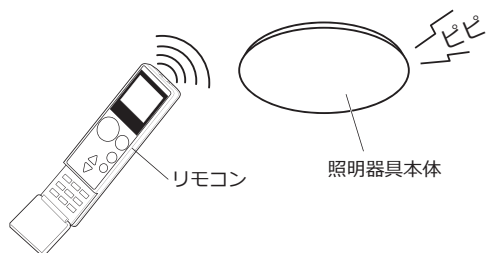
offタイマーの設定方法

30分後に自動消灯する

リモコンの扉を開け **30分off** ボタンを1回押し

🕒 30 を表示 (点滅) させる

照明器具本体から「ピピ」とブザー音が鳴り設定完了

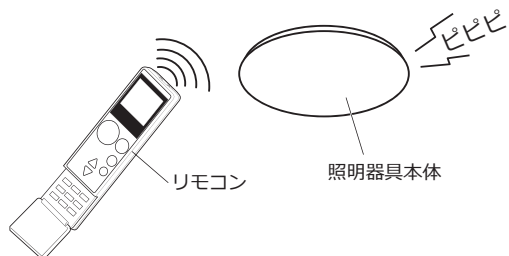


60分後に自動消灯する

リモコンの扉を開け **60分off** ボタンを1回押し

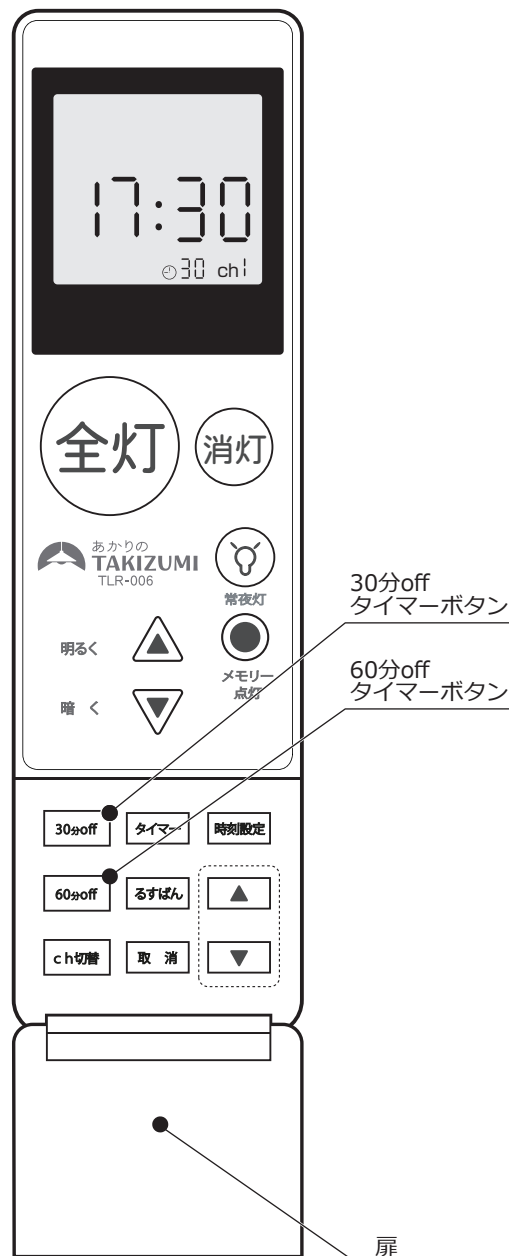
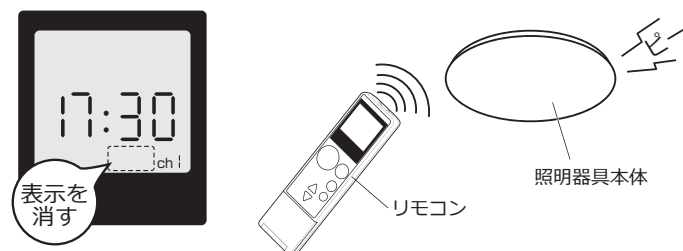
🕒 60 を表示 (点滅) させる

照明器具本体から「ピピピ」とブザー音が鳴り設定完了



offタイマーを解除する

offタイマー作動中にリモコンの操作ボタン(扉内以外のボタン)を押すと
offタイマー表示が消え、照明器具本体から「ピー」とブザー音が鳴り解除完了



- 「offタイマー機能」と「るすばん機能」を同時に使用する場合は、消灯時間の設定が早い方が優先されます。
- 「offタイマー機能」と「タイマー機能」を同時に使用する場合は、消灯時間の設定が早い方が優先されます。

- 扉内の **取消** ボタンではoffタイマーを解除できません。
- offタイマー実行後、再度offタイマーを押すとボタンを押した時点からの延長となります。
- 再度offタイマー設定が必要な場合は、改めてボタンを押して設定をおこなってください。

リモコンの便利な使い方

2台までのリモコン照明器具を操作する（照明器具のチャンネルを変更できます）

チャンネル設定でできること

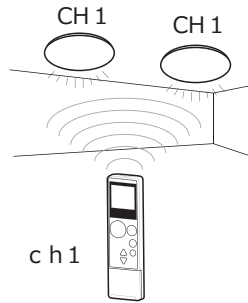
- リモコンのチャンネルを切り替えると1台のリモコンで複数の照明器具を操作できます。

※リモコンで操作できない時は、リモコンと照明器具とのチャンネル設定が合っていない可能性があります。

⇒13ページ「チャンネルの設定方法」を参照

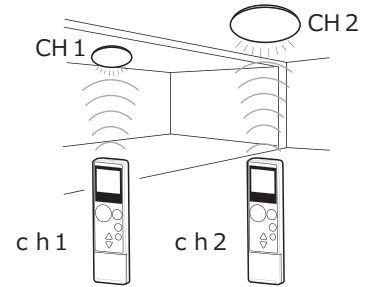
【2台の器具を同時に操作する】

《使用例》
部屋に2台のリモコン照明器具(タキズミ製)がある場合



【2台の器具を別々に操作する】

《使用例》
隣室にもリモコン照明器具(タキズミ製)がある場合



チャンネルの設定方法

●チャンネルの初期設定は照明器具本体、リモコン共にch1に設定されています。

照明器具本体を **ch2** に設定する場合

①チャンネル設定 **ch2** に設定したい器具のみを壁スイッチONにする

②リモコンの液晶画面に **ch1** が表示されていることを確認する

（ch2になっている場合は、下記④の操作をおこない、液晶画面の表示をch1にしてください。）

③照明器具本体にリモコンを向けながら「調光ボタン」を約6秒以上同時に長押しする

（「ピーピーピ」とブザーが鳴り照明器具本体のチャンネルが **ch1→ch2** へ切り替わります。）

④リモコンの扉を開け **ch切替** ボタンを1回押して液晶画面に **ch2** が表示されていることを確認する

（※照明器具本体のチャンネル設定がch2に切り替わっているため、リモコンのチャンネルを合わせないと操作することができません。）

照明器具本体を **ch1** に設定する場合

①チャンネル設定 **ch1** に設定したい器具のみを壁スイッチONにする

②リモコンの液晶画面に **ch2** が表示されていることを確認する

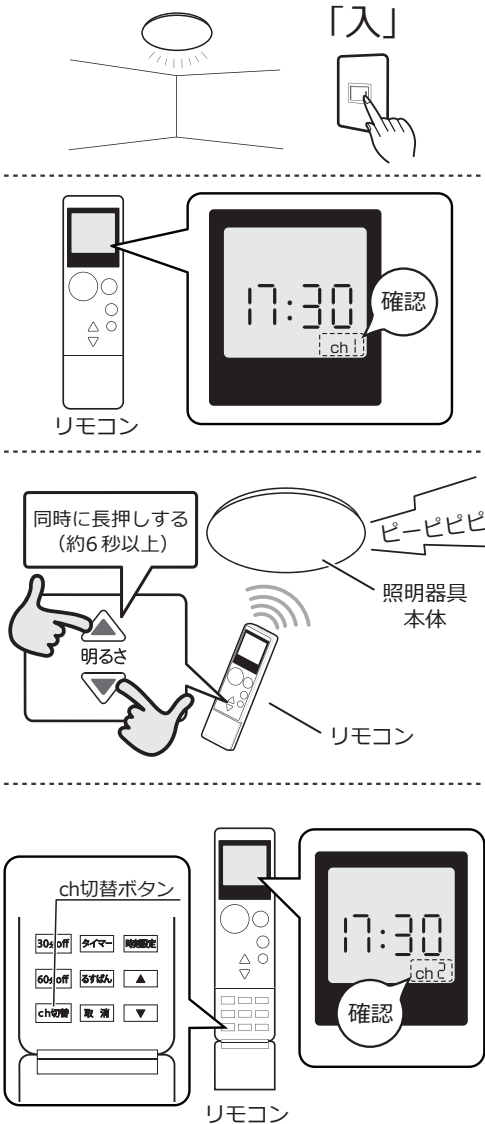
（ch1になっている場合は、下記④の操作をおこない、液晶画面の表示をch2にしてください。）

③照明器具本体にリモコンを向けながら「調光ボタン」を約6秒以上同時に長押しする

（「ピーピーピ」とブザーが鳴り照明器具本体のチャンネルが **ch2→ch1** へ切り替わります。）

④リモコンの扉を開け **ch切替** ボタンを1回押して液晶画面に **ch1** が表示されていることを確認する

（※照明器具本体のチャンネル設定がch1に切り替わっているため、リモコンのチャンネルを合わせないと操作することができません。）



チャンネル設定を切り替えたい照明器具本体以外も反応して、同時に設定されてしまう場合は、壁スイッチOFFにしてから対象器具以外のコネクタを取り外してからチャンネル設定をしてください。

リモコンは、他のタキズミ製リモコン付照明器具に対しても操作できますが、チャンネルの設定の方法はその商品の取扱説明書をご参照ください。また、機種によってはリモコンで操作できる機能が制限される場合があります。

故障かな？と思ったら

下表に従って点検してください

現象	考えられる原因	点検事項
点灯しない	壁スイッチがOFFになっている	➡ 壁スイッチをONにしてください ⇒ 5ページ・・・
	器具のコネクタが確実に差込まれていない	➡ 器具のコネクタを確実に接続してください ⇒ 4ページ・・・
リモコンで操作できない	リモコンと器具のチャンネルが合っていない	➡ リモコンと器具のチャンネルを合わせてください ⇒ 13ページ・・・
	リモコンの電池が正しく入っていない	➡ リモコンの電池を正しく入れてください ⇒ 6ページ・・・
	リモコンの電池が消耗している	➡ リモコンの電池を交換してください ⇒ 6ページ・・・
リモコンの液晶画面の表示が薄い	リモコンの電池が消耗している	➡ リモコンの電池を交換してください ⇒ 6ページ・・・
タイマー機能・ るすばん機能が作動しない	壁スイッチがOFFになっている	➡ 壁スイッチをONにしてください ⇒ 5ページ・・・
	照明器具本体が作動する範囲内にリモコンを置いていない	➡ 照明器具が作動する範囲内にリモコンを設置してください ⇒ 10～11ページ・・・
タイマー機能が作動しない	「タイマー入」と「タイマー切」の設定時刻を同じ時刻で設定している	➡ タイマー設定時刻を確認してください ⇒ 9ページ・・・
勝手に点灯・消灯する	offタイマー30分/60分がセットされている	➡ offタイマー30分/60分を解除してください ⇒ 12ページ・・・
	タイマー機能が作動している	➡ タイマー機能を解除してください ⇒ 10ページ・・・
	るすばん機能が作動している	➡ るすばん機能を解除してください ⇒ 11ページ・・・
	非常に短い停電などにより壁スイッチ機能がはたらき、点灯状態が切り替わった可能性がある	➡ 壁スイッチをOFFにしてください ⇒ 5ページ・・・ リモコンまたは壁スイッチ操作で点灯モードを切り替えてください ⇒ 5ページ・・・

上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入店、弊社お客様相談室にご相談ください。

ご使用上に関するお知らせ

【ご使用上の注意点】

- 点灯中や消灯後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- 天井の材質や構造によっては、器具取付天井面が変色する場合があります。
- 木や紙など素材を使った商品は天然素材の特性上、同一品番でも商品ごとに寸法および色合い模様が多少異なる場合があります。
- 停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。長時間使わないときは、壁スイッチをOFFしてください。
- 壁スイッチがないと、リモコンの電池が消耗した場合やリモコンを紛失した場合に点灯消灯ができません。
- 壁スイッチがONの場合、消灯時も待機時消費電力を消費しています。
- LED、常夜灯にはバツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- 3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見える場合があります。
- 3Dテレビ視聴時、リモコンが反応しにくい場合があります。
- 点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入る場合があります。
- LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。
- 照明器具が点灯しない場合は、電源を切り、ご購入店、弊社お客様相談室にご相談ください。

【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像通信機器に雑音が入ることがあります。
- 器具のきわめて近くでは、リモコン機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなる場合があります。

お手入れについて

電源を切って、本体やその周辺が冷めてから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に下記の手順で清掃してください。

【本体】

石けん水に浸した布をよく絞って拭き取り、洗剤が残らないようによく拭き取る。柔らかい布で拭く。ひどい汚れのときは、よく絞った布で何度も拭き最後に必ず乾拭きをする。（水洗いはできません）

【カバー（プラスチックのもの）】

石けん水に浸した布をよく絞って拭き取り、洗剤が残らないようによく拭き取る。柔らかい布で拭く。ひどい汚れのときは、よく絞った布で何度も拭き最後に必ず乾拭きをする。

【カバー（木・竹・和紙など）】

ハタキ・ハケ・柔らかいブラシ等でこまめにホコリを払い落としてください。（水洗いはできません）

- 使用する電池や条件により半年未満で消耗することがあります。
- リモコンに付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短くなる場合があります。交換時は2本とも新しい同じ種類のものを使用してください。長期間使わないときは電池を取り出してください。（液漏れによる故障防止）
- リモコンの送信部は定期的にお手入れを行ってください。ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。



シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

仕様

使用電圧	周波数	消費電力	入力電流
AC100V	50/60Hz共用	全灯：27.8W 常夜灯：1.3W 待機時：1W以下	0.28A

- LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。（照明器具の寿命とは異なります）
光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

タクミ照明器具保証書

※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。

<保証について>

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店または、下記「お客様相談室」までご相談ください。
3. 二次販売、ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けにならない場合には、下記「お客様相談室」までご相談ください。
4. 保証期間は製品お買い上げ日から5年間です。（本体、LED器具の点灯装置）但し、付属部品は1年間です。
お買い上げ日より5年以内に故障が発生した場合は、保証規定の範囲で無料修理させていただきます。
※24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合は、上記の半分の期間とします。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. 保証期間内でも次の場合には原則として有料とさせていただきます。
(1) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障及び損傷
(2) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障および損傷
(3) ご使用による器具のキズ、汚れ、および自然劣化
(4) 各部材の経時変化による外観の劣化やそれに伴う照明機能低下
(5) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
(6) 一般家庭用以外（例えば業務用等や車両、船舶等に搭載）に使用された場合の故障および損傷
(7) 施工上の不備に起因する故障や不具合
(8) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わない事による故障および損傷
(9) 本書および領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示がない場合
(10) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合

<アフターサービスについて>

1. 保証期間中に万一故障が起きた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店までお申し出ください。
2. 保証期間終了後は、お買い上げの販売店または、下記「お客様相談室」までご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
3. アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、下記「お客様相談室」までご相談ください。
4. 弊社は照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後最低6年間保有しています。
（※セードなどの電気部品以外の部品は含まない）
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。
※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な点はお買い上げの販売店または、下記「お客様相談室」までご相談ください。

品番	RTB60146	保証期間 (お買い上げ日から)	本体、LED器具の点灯装置	お買い上げ日	年 月 日
			: 5年間		
お客様	お名前	販売店名・住所・電話番号			
	ご住所 〒	-			
	電話番号 ()	-			

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及び、その後の安全点検活動のために記載内容を利用して頂く場合がございますので、ご了承ください。

